

平成 29年 09月 01日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 酒田森林環境循環型住宅

グループの名称 さかた「すぎの子」会

直近採択グループ番号 04-0010-0122

(グループ代表者)

代表者名 大井 勝喜 代表者印

代表者所属先 株式会社大井工務店

代表者所在地 山形県酒田市みずほ1-21-11

代表者電話番号 0234-22-2262

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社大井工務店

事務局担当者名 石井 佑佳 印

事務局郵便番号 998-0853

事務局所在地 山形県酒田市みずほ1-21-11

事務局電話番号 0234-22-2262

事務局FAX 0234-22-2263

事務局担当者E-mail ooi@ooi-koumuten.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		18	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	8	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		18	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	8	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		18	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	8	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		18	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	8	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		18	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	8	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		18	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	8	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		18	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	8	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		18	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	8	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		18	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	8	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		18	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	8	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟	/					
			0	m <sup>2</sup>						
		申請が未確定	0	棟						
			0	m <sup>2</sup>						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	補助事業へ参加を希望する工務店全体に最低1戸を配分し、その上でこれまで長期優良住宅への取り組み実績が少ない工務店や受注が確実視されている工務店に優先的に配分していく。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	9	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県内
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会	(結成年) 2011年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0010-0122	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○寒冷な気候であるため他地域のスギに比べ目が詰まっており、比較的高い強度の良質なスギ人工林を保有している。この地域特性への対応を前提として、雪と地震に強い家の取り組みを行う。 ○積雪荷重を考慮し、スパン表ではなく許容応力度計算による構造等級2以上の確保を実施していく ○地域的に海岸に近い地域で強風の日が多いため、耐風等級2を目安に耐震・耐風計算を行う ○次世代省エネ基準を満たした冬暖かく、夏涼しい健康にやさしい住宅を目標とする	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○品質の明確な県産材を使用し、高品質の乾燥木材を利用した、自然の木の香りやぬくもりを感じてもらえる家づくりを目指す ○山形県産材認証制度によって産地証明のなされた地域材を、主要構造材(柱・梁・桁)・羽柄材に使用する ○2次部材(母屋・垂木・棟木・小屋束・火打材・根木・間柱)に関しても地域材を使用していく ○主要構造材(土台)2次部材(大引)に対しては劣化の軽減をするための対策として、耐久性の高い樹種の国産松材を使用する ○グループで指定する地域材を主要構造部に60%以上使用する	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○内部外部に無垢の木材を使用するときは、国内の全地域を対象とした質の高い無垢材(杉・松)を使用していくことで、地域経済に貢献する	◎
④①～③の背景	○さかた「すぎの子」会による、酒田森林環境循環型住宅の認定書(認定番号・木材供給業者・使用木材量を明記)の発行をする事により、使用した建築主様に感謝をして自ら森林の環境に貢献したことを評価して認定書を提示していく	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○広報活動の強化と、さかた「すぎの子」会の認知度向上に向けた取り組みを行う ○チラシやWEBサイトなどで、地域型住宅の特徴を記載したものを作成し、認知度向上に向けた取り組みを行う	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○グループ内での木材の寸法を統一して標準化して発注の経費をなるべく無くす ○構成員の研修会や、連絡会等随時開催して情報の共有化を目指す	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○グループを代表として共同資材購入していく事で経費の効率化を図る	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○グループを代表として共同資材購入していく事で経費の効率化を図る	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○グループを代表として共同資材購入していく事で経費の効率化を図る	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○設計グループを中心とした設計仕様委員会の設置と、仕様説明会の実施 ○未経験工務店の不安・疑問に対処する座談会形式の勉強会の実施	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○事務局を中心として、未経験構成員のサポートを実施 ○提案方法から設計・施工までのアドバイスを可能な体制を整える	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○施工基準の整備と、技術の向上に向けて現場見学を実施 ○施工技術の均一化を図り、消費者へアピールすることでグループの信頼性向上に努める	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループが提携する株式会社日本住宅保証検査機構に検査を任せ、検査項目を適正化したルールを作り説明文書に変えお客様に提供していく	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○標準見積書を使用して、施主へ住宅コストの適正な提示、説明の義務化 ○グループで木材を共同購入して価格を統一して経費の省力化をはかる	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○受注から維持管理までのハンドブック(施主様向けと事業者向け)の作成と、それによる普及啓発活動	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県内
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会	(結成年) 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0010-0122	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】

◎、○  
記入欄

a ① 住宅履歴情報の蓄積

①-1 内容・蓄積の共通ルール

ない  ある →

内容: ○住宅履歴情報の蓄積の義務化  
○点検内容、管理方針を明確にする  
○点検実施に関する報告書の作成  
○グループ共通の維持保全計画書の作成と活用  
○点検実施に関する報告書の作成と、維持管理

○

①-2 情報サービス機関の活用

ない  ある →

内容:

①-3 履歴情報蓄積の確認手法

ない  ある →

内容: ○お引渡しリストに沿って、蓄積された履歴情報と合わせて確認する

○

② メンテナンス基準の整備

②-1 点検の共通ルール

ない  ある →

内容: ○お引渡し後、半年目から30年までの点検記録シートを作成。  
○点検部位を細かく項目分けした上で、それにそってチェックしていく。  
○点検項目に沿ってすべて写真撮影をおこない、記録していく。

○

②-2 補修の共通ルール

ない  ある →

内容: 社内検査後、補修箇所があればチェックシートを使用して確認

○

②-3 点検補修実施の確認手法

ない  ある →

内容: 都度、補修実施の写真および報告書の提出をしてもらい確認する

○

③ 住まいの管理

③-1 住まい管理勉強会の実施

ない  ある →

内容: ○構成員の研修会を随時開催

○

③-2 DIY体験会等の実施

ない  ある →

内容:

③-3 その他の相談会等の実施

ない  ある →

内容:

④ 維持管理委員会等の設置

ない  ある →

内容: ○さかた「すぎの子」会による、酒田森林環境循環型住宅の認定書(認定番号・木材供給業者・使用木材量を明記)の発行をする事により、使用した建築主様に感謝をして自ら森林の環境に貢献したことを評価して認定書を提示していく

○

⑤ その他の維持管理の手法

ない  ある →

内容:

b ① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール

ない  ある →

内容: ○住宅瑕疵担保責任保険会社に基本的なルールを提案してもらい、グループ内での勉強会で説明してルール化していく

○

② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施

ない  ある →

内容: ○株式会社日本住宅保証検査機構の方に直接来てもらい、定期的に勉強会を開催している

○

その他  
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】

◎、○  
記入欄

a ① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催

ない  ある →

内容: ○未経験工務店の不安・疑問に対処する座談会形式の勉強会の実施

○

②-1 品質管理のための共通ルール

ない  ある →

内容: ○提案方法から設計・施工までのアドバイスが可能な体制を整える

○

②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法

ない  ある →

内容: ○定期的な座談会を開催

○

③-1 需給計画の策定

ない  ある →

内容:

③-2 技術力向上のための中長期的な計画

ない  ある →

内容: ○若手大工の育成をしていくとともに、職人ひとりひとりの技術レベルを上げるため、公的な講習会に参加

○

④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組

ない  ある →

内容: ○職人の技術向上を図るうえでグループ内での交流を行い、現場での技術力の均等化と合理化を進めていく

○

b ①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数

昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 1

○

①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数

昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 1

○

② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組

ない  ある →

内容: ○設計から施工者までグループ全員が省エネ技術者講習会へ参加するように活動する

○

c ① 新たな技術等の導入

ない  ある →

内容: ○夏涼しく冬暖かい住宅を目指し新しい方法として基礎断熱工法を取り入れる

○

② 新たな技術等の開発

ない  ある →

内容: ○基礎断熱工法により構造が変わるので、新しい工法に即した技術開発を進める

○

その他  
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県内
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会	(結成年) 2011年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0010-0122	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) ○柱に関しては地域材酒田杉を使用 ○梁に関してもなるべく地域材酒田杉を使用し、構造的に強度が必要な時は米松KD材を使用する ○桁は構造的に力がかかる部分は米松KD材とし、それ以外は地域材酒田杉を使用する ○主要構造部に関しては地域材を使用、部位によっては酒田杉で乾燥したKD材を使用する事にする ○それ以外は乾燥していないGR材を使用しても良いものとする	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材     土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材     間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材     枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 板材     壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材仕入れ業者による、在庫運営管理を委託する ①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ代表が月一度木材供給会社に在庫量の確認と価格情報を聞き、データ化することによって、各グループから問い合わせが合った時に対応できるようにしておく ② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ全体での地域材は構造材・羽柄材合わせて2200m3以上を使用する	◎  ○ ○
c	①-1 畳の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ①-2 和瓦の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ①-3 襖の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ①-4 障子の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○外部化粧垂木、幕板、化粧桁等、内部床、壁、天井、木部部分に地域材の杉を使用し、仕上げ材杉板等は国産杉を使用し伝統的な技能と一緒に継承していく ② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ④ 和の住まいの要素を取入れた取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県内
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会	(結成年) 2011年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0010-0122	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

地域の大工が地域材を積極的に使用しないことにより、森林の荒廃や地域経済の悪化が起こっている。  
これを解消するために、私たちは長年市と連携を図り地域材使用に向けた取り組みをしており、  
実際に地域材使用による市の補助金使用件数が、当初の6件から昨年は40件に上ったことから、成果が確実に現れているといえる。  
今後も地域環境をよりよくするために、地域材の使用に積極的に取り組んでいきたい。

また、地域材を利用してもらうには、同時に性能価値の高い住宅を提供することも大変重要である。  
認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅においては、耐震に強い住宅・断熱性の高い住宅を軸に老人が使用しやすく健康に配慮のある住宅を提供する事。  
また、太陽光のメーカーの技術を借りながら、H29年度からはゼロ・エネルギー住宅の普及を全面に出して活動に力を入れていく。